

従業員の皆さんへ

毎日のお仕事ご苦労様です。

今年も残り1ヶ月となり、やっとこの時期らしい気候になってきましたね。寒くなってきたことに加え、行動制限がなくなったこともあり新型コロナも「第8波」に入ったと報じられ、身の回りでも陽性者・濃厚接触者が増えていきます。今年も、インフルエンザとの同時流行も懸念されていますので、引き続き感染対策をお願いします。今月の衛生委員会通信のテーマは「短い時間を活用した社内で行き届く運動」についてです。

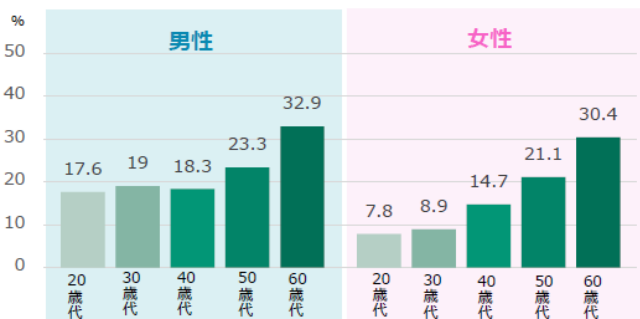
働く世代は、いろんな理由から運動不足と言われていますが、職場でできる運動で対策をしてみませんか？

働く世代を取り巻く運動事情

働く世代は男女ともに、7~9割が運動不足といわれています。仕事や家事が忙しく、時間やお金をかけて取り組む運動はビジネスパーソンには難しい…
⇒職場でできる、時間・手間・お金がかからない運動は継続しやすい！

運動習慣のある者の割合

※「運動習慣のある者」とは、1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者。



運動をしない理由は？

- 1位 仕事や家事が忙しいから
- 2位 面倒くさいから
- 3位 お金に余裕がないから

スポーツ庁 令和元年策定スポーツの推進状況に関する世論調査より

運動への取り組みは企業の努力義務

労働安全衛生法で、次のように定められています。

第69条（健康教育等）

事業者は、労働者に対する健康教育及び健康相談その他労働者の健康の保持増進を図るため、必要な措置を継続的かつ計画的に講ずるよう努めなければならない。

第70条（体育活動等についての便宜供与等）

事業者は、前条第一項に定めるもののほか、労働者の健康の保持増進を図るため、**体育活動、レクリエーションその他の活動についての便宜を供与する**等必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

会社は、継続的な運動への取り組みを計画し、従業員に参加を促す必要があります。一時的なイベントだけではなく、短時間で長く取り組める運動を会社が推進することが大切です。

会社が推進する運動に期待される効果

<具体的な取り組み例>

- ①生活習慣病の予防
 - ・階段の利用を推奨
 - ・ランニング用のシューズやトレーニングウェアの購入補助
- ②社内コミュニケーションのきっかけに
 - ・社内ウォーキングイベントの開催
 - ・昼休みに空き部屋でエクササイズ動画を投影
- ③筋力の維持
 - ・「ながら筋トレ」の推奨
 - ・立ち会議、スタンディングデスクの導入
- ④肩こり、腰痛の軽減
 - ・ストレッチ方法のポスターを休憩室に貼る
 - ・決まった時間にみんなで体操



オフィスでできる1分運動 ~脚~

STEP.01

左足を床に付け、右足を左足のアキレス腱に当てる。

STEP.02

ボールを蹴るように右足に力を込めて前に8秒間押し出す。左足はしっかりと地面に固定しておく。

使う筋肉：右太ももの前側の筋肉

STEP.03

右足を左足首の前に出し、かかとで左の足首を後ろに押しさをつけるように8秒間力を込める。

使う筋肉：右太ももの後側の筋肉

効果アップ

軸足を浮かせて前後に押し合うと、太ももの前側と後側、両方の筋肉を刺激できる。

息を止めずに行いましょう！

STEP1~3を左右それぞれ2回行う（約1分）と、10kcalの消費！

オフィスでできる1分運動 ~お腹~

STEP.01

椅子に深く座り、両足を揃える。椅子とデスクの間は軽く開け、両手をデスクに軽く乗せる。

STEP.02

背中を丸め、お腹に力を込めて両足を4秒かけて上げ、8秒止める。

使う筋肉：下腹部の筋肉

STEP.03

4秒かけて足を床に戻す。

効果アップ

膝を組んで、下の足で上の足を持ち上げる。

STEP1~3を3回行う（約1分）と、10kcalの消費！

オフィスでできる1分ストレッチ ～肩～

<用意するもの>

タオル、マフラー、ハンカチなどの布

STEP.01



タオルを持った腕を頭上に伸ばし、肘から頭の後ろに曲げる

STEP.02



もう片方の手でタオルをつかむ。(背筋が張れる長さで!) しっかり胸を開いて20秒深呼吸。

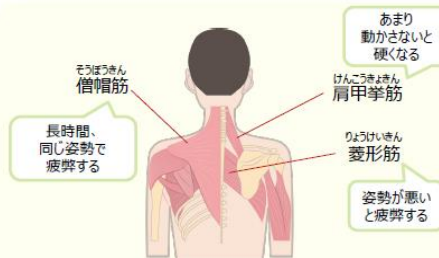
腰は反らない

STEP.03



一度肩を緩めてから、逆も行う

肩こりの原因になる筋肉



長時間、同じ姿勢で疲弊する

あまり動かさないと硬くなる

姿勢が悪いと疲弊する

定期的な姿勢を伸ばし、身体を動かしましょう!

オフィスでできる1分ストレッチ ～首～

STEP.01



背筋を伸ばして後ろで手を組み、左手を脇腹に添えるように抑える

STEP.02



首筋から肩甲骨にかけての筋肉が伸びる

右横に首をゆくりと倒し、深呼吸しながら30秒キープ

STEP.03



右斜め前に首を倒し、深呼吸しながら30秒キープ 逆も行う

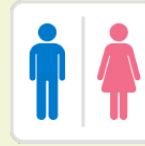
首は血管や神経が多く通っている場所のため、ゆっくり動かしてくださいね。強くもみほぐしたり、音が鳴るまで曲げるのは避けましょう。



会社が整えたい運動の環境

場所

手軽に体を動かせる場所を活用する



休憩室やトイレの個室など、周囲の目が気にならない場所で、ストレッチのやり方を紹介

目目付く場所ではやりにくい。一人になれる空間を利用するとGOOD

風土

体を動かしてもいい雰囲気を作る



1日3回、社内放送でストレッチの推奨

制度・設備だけでなく、『過度に身体を動かす=サボリ』と周りに思われない風土を会社がトップダウンで作る

意識づくり

立場・役職に関係なく会社全体で取り組む



社内イベントはしっかり周知 部署対抗など、みんなで楽しく実践

運動に関心がある人だけでなく、『みんなで取り組む意識づくり』を行う

取り組みのポイント



会社で取り組みを行うときは…従業員が続けられるか・楽しめるかをチェック

✔ 習慣化しやすく、飽きない工夫



ウェアラブル端末や専用アプリの活用

セルフケア・意識づくりのきっかけになる取り組みになるように心がけましょう!

✔ 社内イベントは盛り上がる工夫を

単なるウォーキングイベントではなく…



結果に応じて個人・グループごとにインセンティブや表彰をすることでイベントを盛り上げましょう!

✔ 従業員の希望・意見を取り入れる



アンケート・改善案の募集

どんな取り組みを行ってほしいか、従業員にヒアリングしましょう!

忙しいとなかなか取り組むことが出来ない運動は、時間に余裕のある人だけが取り組む「趣味」のように受け入れがちです。しかし、今や運動不足は健康上の大きなリスクとされています。長期的な目で見ると、会社から従業員の方に運動を推進することが、今後の企業の健康を作っていくひとつの要素になります。運動不足を個人の責任とするのではなく、従業員皆さんでぜひ短い時間を活用してこまめに体を動かすようにしていきましょう!